

出演者プロフィール

指揮 小森 康弘



1975年宇都宮市生まれ。宇都宮大学教育学部および東京藝術大学指揮科首席卒業、同大学院修了。修士論文は「マラーの『角笛交響曲とその周辺』について」。

2006～2007年、ウィーン国立音楽大学指揮科に留学。その後ミュンヘンに拠点を移し、バイエルン放送響、ミュンヘン・フィルにおいて研鑽を積む。2008年帰国。

指揮を小林研一郎、故・佐藤功太郎、松尾葉子、田中良和、小田野宏之、クルト・マズア、ハンス・マルティン・シュナイト、故・エルヴィン・アッチェル、ウロシュ・ラヨヴィッツの各氏に師事。これまでウクライナ国立ガンスク・フィル、ウィーン・プロ・アルテ・オーケストラ、東京ユニバーサルフィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、瀬戸フィル、N響アンサンブル等、国内外の多数のオーケストラを指揮。

指揮 岡田 直樹



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学中の2001-2002、卒業後の2004-2005シーズンにイタリア・ミラノへ留学。在伊中にオペラ、コンサート、録音等に出演し、好評を博す。

2011年には夏祭クラシックスのベースになった、「横浜開港祭ザ・プラスクルーズ」に於ける「第九」プロジェクトの責任者になり、2011年と2013年の「第九」コンサートを成功させるも、

運営理念が一致せず独立。2014年より参加者やお客様に喜んでいただける事をテーマに「夏祭クラシックス」を設立し、自ら主宰する。

パイプオルガン 近藤 岳



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学別科オルガン科修了。同大学大学院修士課程音楽研究科(オルガン)修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてフランス(パリ)に留学。

オルガニスト、作・編曲家として、国内外でのオルガンリサイタル等のソロ演奏に加え、アンサンブルや国内主要オーケストラとの共演も多数行っている。自作自演や邦人作曲家作品の初演も数多く、各コンサートホール、オルガニストからの委嘱作品も多数手がけており、いずれも好評を博している。

現在、ミューザ川崎シンフォニーホール・オルガニスト。東京藝術大学非常勤講師。国立音楽大学非常勤講師。日本オルガニスト協会会員。

ソリスト

中山 美紀(Sop)



小仁所 良一(Bas)



男声合唱団 An die Musik



「An die Musik」とはドイツ語で“楽に寄す”という意味。無類の男声好きを公募で寄せてみたところ、強烈なキャラクターの男性が揃った。飲み会を開催するたびにアンサンブルを深め、ダンディズムの究極系こそ我々であると自負している約30名の精鋭に期待！

夏祭クラシックス2017合唱団・祝祭管弦楽団



2011年、横浜開港祭ザ・プラスクルーズ「第九」から始まった本企画。2017-2019年「三大レクイエムシリーズ」の初年となる。公募合唱団は約170名の大所帯を岡田直樹、新堂由暁、志田尾恭子の指導者陣が率いる。また本年は、管弦楽団も一般公募としオーディションで選ばれた奏者たちをマエストロ小森康弘が指導。夏祭シリーズ初のミューザ川崎シンフォニーホールでの大舞台に向け、合唱団、管弦楽団共に日々研鑽を重ねている。

会場アクセス

ミューザ川崎シンフォニーホール

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

【TEL】044-520-0200 【FAX】044-520-0103

【URL】<http://www.muzakawasaki.com>

【行き方】JR川崎駅下車徒歩3分、京急川崎駅下車徒歩8分

【駐車場】駐車場(343台収容)があります。

駐車場に関するお問合せはミューザ川崎駐車場(044-555-8691)まで。

